

第 66 回日本神経学会学術大会総括

—全体アンケートを中心に—

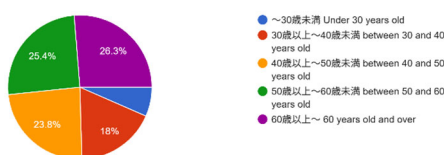
はじめに

第 66 回日本神経学会学術大会は、“神経学が拓く未来社会”をテーマ大阪府立国際会議場ならびにリーガロイヤルホテル大阪にて 2025 年 5月21日(水)から 5月24日(土)まで 4日間の日程で開催された。開催内容は、企画プログラムとして、学術プログラム 65 セッション 303 演題（うち英語 85[28%]）、教育プログラム（レクチャーマラソンを含む）38 セッション 140 演題（英語 6[4%]）の講演が行われ、一般演題として、口演 46 セッション 262 演題（英語 128[48%]）、ポスター912 セッション 804 演題（英語 324[40%]）、学生・研修医セッション 69 演題、メディカルスタッフセッション 89 演題の発表が行われた。第 66 回大会は、現地開催を基本としたハイブリッド形式での開催とした。その結果、大会参加登録者数は 9424 名で、参加者数は現地参加 6245 名、WEB のみ参加 2704 名、合計 8949 名であった。大会終了後に実施された全体アンケートの結果を示しながら、第 66 回大会について総括する。

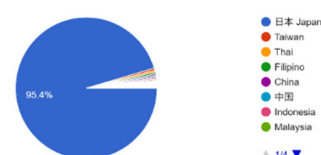
A. 参加者について

アンケートは大会終了後の 2025 年 5月28日から 6月10日の期間（14日間）で、Google システムの Web入力式で実施し、1206 件の回答があった。アンケート回答者の年齢は 40 代以上が多く（A1）、95.4%は日本人であった（A2）。所属は一般病院（43.6%）、大学病院（28.6%）が多く、開業医（10.5%）がそれに次いだ（A3）。職業の内訳では医師が 74%と最多であり（A4）、日本神経学会会員が多数を占め（77%）（A5）、脳神経内科専門医は全体の 70%であった（A6）。日本神経学会非会員、脳神経内科専門医以外が約 20%、30%ずつ占めた。参加日は 2日目、3日目の現地参加人数が多い傾向は昨年と同様であった。昨年は全日程を通して現地参加人数は Web 視聴参加人数の 2 倍以上であったが（A7）、今回の学会の参加形式に関しては「現地参加」および「現地参加+Web 視聴参加」の合計が全体の 4 分の 3 以上を占め、コロナパンデミック後に現地参加が主流となってきたことが窺えた（B8）。

A-1. 年齢 age
1,206 件の回答



A-2. 国籍 nationality
1,206 件の回答



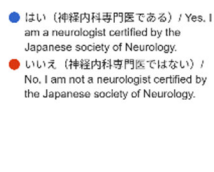
1,206 件の回答



1206 件の回答



1,206 件の回答



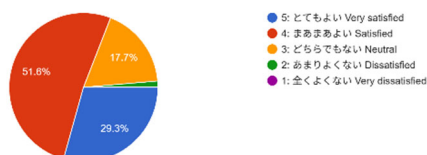
1206 件の回答



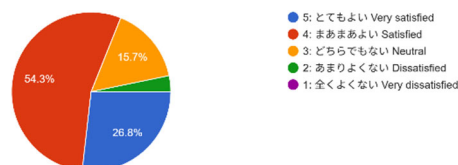
B. 全体の運営について

以下の設問に対して「とても良い」または「まあまあ良い」と回答した合計数を肯定的な返答と考えて結果をまとめた。ポケットプログラム、抄録集の内容、学術大会ホームページ、学術大会関連ご案内メールを良いと評価した人数は全体の80%以上を占めた（B1-3）。電子抄録アプリを「とても良い」、「まあまあ良い」、「どちらでもよい」がほぼ同数で約30%であった（B4）。プログラム構成、シンポジウムのテーマ、一般演題からシンポジウムに採択した演題の選択について75%以上で良いという評価であった（B4-7）。

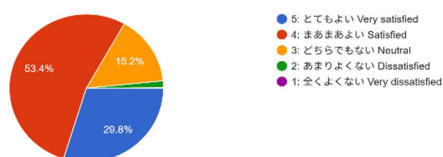
B-1. ポケットプログラム、抄録集の内容はいかがでしたか？ / How were the contents of pocket program and abstracts?
1,190 件の回答



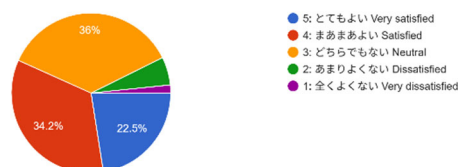
B-2. 学術大会ホームページはいかがでしたか？ / How was the official website?
1,198 件の回答



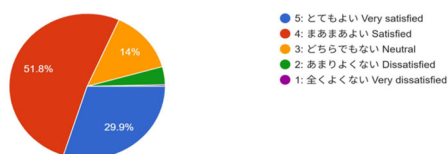
B-3. 学術大会関連のご案内のメールはいかがでしたか？ / How was information about the meeting by e-mail?
1,195 件の回答



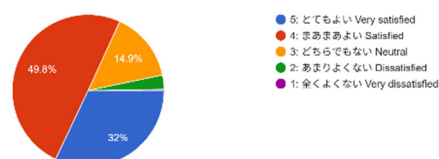
B-4. 電子抄録アプリはいかがでしたか？ / How was the App 'Confit'?
1,164 件の回答



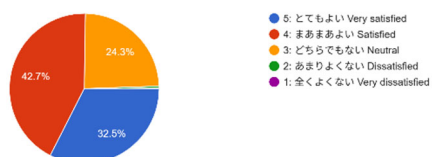
B-5. プログラム構成はいかがでしたか？ / How was the program organization?
1,196 件の回答



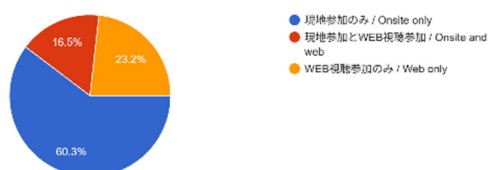
B-6. シンポジウムのテーマ選びはいかがでしたか？（臨床・基礎のバランス、新規性など） / How was the contents of the symposiums? (balance between the basic and clinical research, etc.)
1,189 件の回答



B-7. 一般演題からもシンポジウムに採択した演題があります。これは適切でしたか？ / We picked up some abstracts as symposium. How was this?
1,175 件の回答



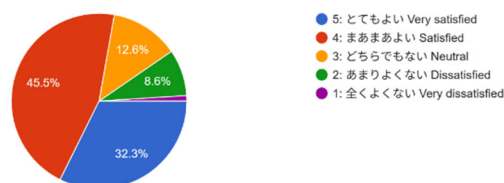
B-8. 今回あなたはどの形式で参加しましたか？ / In which format did you participate?
1,206 件の回答



C. 会場について

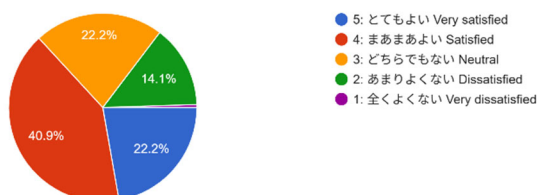
- 1) 会場の広さに関して「良い」と答えた人数は全体の約 80%を占め、昨年よりやや上回った (C1)。

C-1. 会場の環境や広さはいかがでしたか？ / How was the location and size of the venue?
198 件の回答



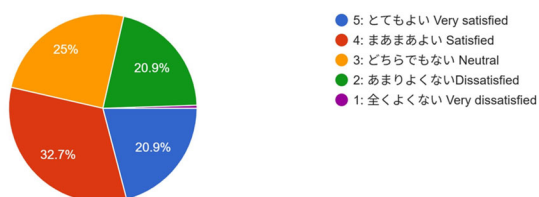
- 2) 会場内の案内 (C2)、ドリンク、休憩場所の数や環境 (C3) を「あまり良くない」と評価した人数がそれぞれ 14.1%、20.9%と他設問と比べるとやや多い結果であり、昨年同様課題を残した。

C-2. 会場内の案内はいかがでしたか？ / How was the information on the venue?
198 件の回答



■「現地参加とWEB視聴参加」とご回答いただいた方

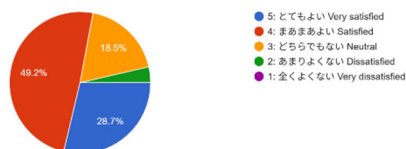
C-3. ドリンク、休憩場所などの数や環境などはいかがでしたか？ / How were the location and the number of rest areas?
196 件の回答



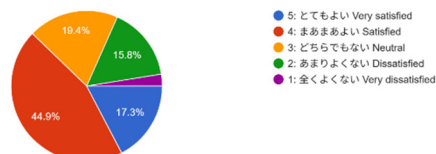
- 3) 一般演題口演の発表時間 (C4) について「良い」と答えた人数は全体の 70%を超え、昨年同様肯定的な意見が大半を占めた。一方、ポスター会場の環境や広さ (C5) について「良い」と答えた人数は全体の 60%強と過半数であったが、「あまりよくない」と答えた人数が比較的多かった (15.8%) 点は昨年同様課題を残した。4) 学生・研修医セッションについて「良い」と答えた人数は全体の 82%を占めた (C6)。5) 一般演題の海外演題と、国内演題を同じセッションで扱っていることについて「良い」と答えた人数は全体

の約 70%を占め（C7）、いずれも有用と考えられた。

C-4. 一般演題口演の発表時間（10分）はいかがでしたか？ / How was presentation time for oral sessions (10 min)?
195 件の回答

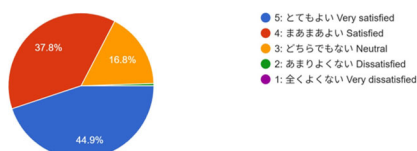


C-5. ポスター会場の環境や広さはいかがでしたか？ / How was the location and size of the poster session?
196 件の回答

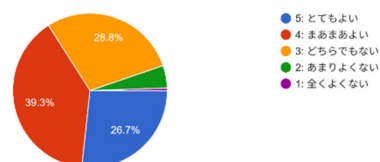


■「現地参加とWEB視聴参加」とご回答いただいた方

C-6. 学生・研修医セッションを設けていることをどう思われましたか？ / What did you think about having a student and junior resident sessions?
196 件の回答



C-7. 一般演題の海外演題と、国内演題を同じセッションで扱っています。これは適切ですか？ (Japanese only)
191 件の回答

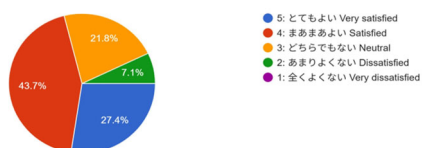


D. Web 視聴について

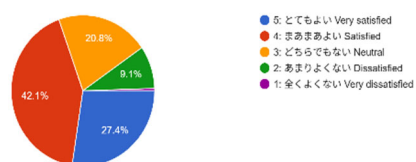
Web 視聴参加に関する案内 (D1)、web 視聴する際の操作性 (D2) とともに 70%以上で「良い」と返答され高い評価を得た。

■「現地参加とWEB視聴参加」とご回答いただいた方

D-1. Web 視聴参加に関するご案内はいかがでしたか？ / How satisfied are you with our information regarding web conference?
197 件の回答



D-2. webで視聴する際の操作性はいかがでしたか？ / How was the usability of viewing on the web?
197 件の回答

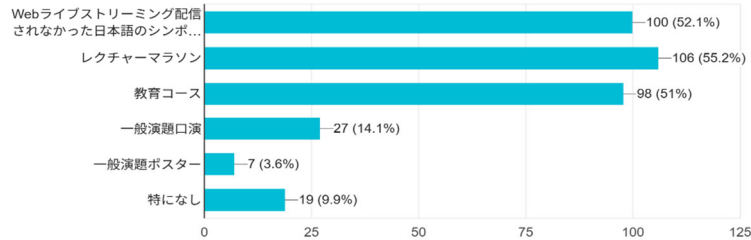


2) Web ライブストリーミング配信があればよかったと思われるセッション (D3) に関する設問では全体の 50%程度の人数が「教育コース」、「レクチャーマラソン (LM-3〜12)」、「Web ライブストリーミング配信されなかった日本語のシンポジウム、ホットトピックスなど」を挙げていた。

D-3.

今回、Webライブストリーミング配信対象外であったセッション... (最大2つまで選択可) (Japanese only)

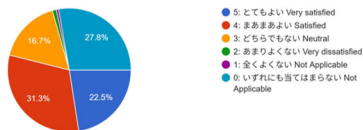
192 件の回答



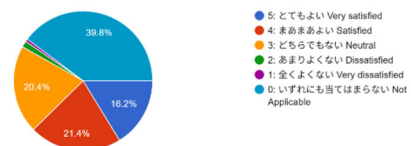
E 各種セッション、オンデマンド配信について

1) レクチャーマラソン内容 (B9)、レジデントクリニカルトーナメント (B10) については「いずれにも当てはまらない (=参加していない)」を除いて統計をとると各々 75%、62%で「良い」と返答されていた。全体のセッション数 (B11)、英語のセッション数 (B12) については「丁度良い」と答えた人数が全体の約 70%であり、「多い」が全体の 17%程度を占め、いずれも昨年と同程度であった。

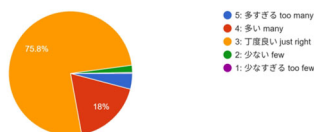
B-9. レクチャーマラソンの内容についてどう思われましたか? / What did you think of the content of the Lecture Marathon?
1,158 件の回答



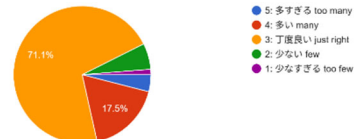
B-10. 本大会のレジデントクリニカルトーナメントについて、どう思われましたか? (Japanese Only)
1,115 件の回答



B-11. 全体のセッション数について、どう思われましたか? / What did you think about the number of sessions?
1,181 件の回答

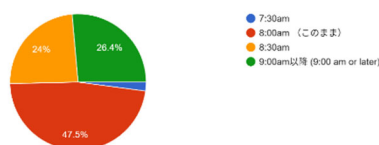


B-12. 英語のセッション数について、どう思われましたか? / What did you think about the number of English sessions?
1,177 件の回答

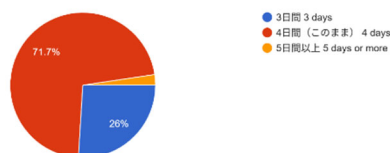


2) 学術大会の開催時刻 (B14) について； 8:00 (今のまま) と返答した割合が全体の 47.5% と最多であり、9 時以降、8 時半と返答した割合が 26.4%、24% とほぼ同数であった。開催期間 (B15) について；4 日間 (今のまま) と返答した割合が全体の 72% と最多であり、3 日間 (26%) と返答した割合がこれに続いた。3) 開催曜日 (B16) については「今のまま土曜日+平日」と返答した割合が全体の 70% 程度を占め、「土日を含める」が 20% 程度であった。 オンデマンド配信については (B17) 良いという割合が 90% 以上を占めた。

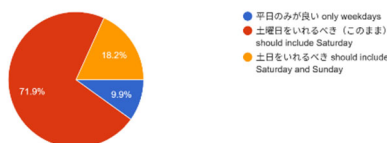
B-14. 今後の学術大会の開始時刻について、適切と思われるものをお選びください。 / What would be the most desirable congress starting time?
1,189 件の回答



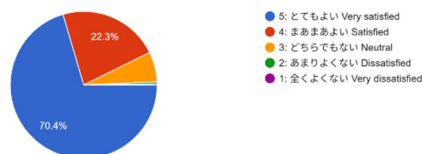
B-15. 今後の学術大会の開催期間について、適切と思われるものをお選びください。 / What would be the most desirable duration for the congress?
1,190 件の回答



B-16. 今後の学術大会の開催曜日について、適切と思われるものをお選びください。 / What are the most desirable days for the congress?
1,192 件の回答



B-17. 6月10日 (火) よりオンデマンド配信が開始されます。オンデマン...ghts on our on-demand services?
1,191 件の回答



学術大会の運営において評価できる点、今後改善できると思われる点に関する まとめ

B-19-1. 学会会場（アクセス）・交通・インフラに関する意見

1. アクセスの良さに対する肯定的意見

- ・ 駅や最寄り駅からのアクセスは良好で参加しやすかった。
- ・ 公共交通機関での到達が容易だった。
- ・ 会場の立地は概ね良かったとの意見。
- ・ 会場がコンパクトにまとまっており移動が容易だった。

2. アクセスの不便さに対する否定的意見

- ・ 大阪駅・新大阪駅・空港からのアクセスが悪い。
- ・ 徒歩移動や乗り換えが多く、負担が大きい。
- ・ 京阪中之島線が存在があまり知られていない。

3. シャトルバス関連の問題点と要望

- ・ シャトルバスが混雑・満員で乗れない／待ち時間が長い。
- ・ 朝一のセッションに間に合わないケースあり。
- ・ バスの便数や容量が不足しており、増便・大型化の希望多数。
- ・ 会場と主要駅（大阪、新大阪）を直通で結ぶバスの要望。
- ・ バス時刻表・乗り場案内の周知が不十分。

4. 案内・表示の不備

- ・ 中之島駅からのアクセス案内及びシティバスの案内が不十分。
- ・ 会場名称が紛らわしい（大阪国際会議場＝旧グランキューブ）。
- ・ 会場案内図の数や見やすさに改善の余地あり。

5. 会場構造・導線の不便さ

- ・ 縦長・多層構造の会場（3F～12F）で移動が大変。
- ・ 座席が狭く、休憩場所が少ない。
- ・ 各フロア間・リーガロイヤルホテルとの往復移動が煩雑。
- ・ 車いす利用者・高齢者にとって不親切な構造との指摘あり。
- ・ 寒すぎた。

6. 万博開催時期との重複に関する懸念

- ・ ホテル代の高騰や宿泊確保の困難。
- ・ 交通渋滞・混雑への影響。

B-19-2. 会場設備（ポスター、口演）に関する意見

1. 会場に対する肯定的意見

- 座れる場所が多くてよかった。
- 会場の広さが十分あり、適切だった。
- ドリンクスペースが多かった。
- 音響が良かった。
- ポスター代行が良かった。
- スクリーンが見やすかった。
- 入場に QR コードを用いておりスムーズでよかった。

2. ポスター会場の「狭さ」「混雑」「音声不良」への指摘（圧倒的多数）

- ポスター会場が全体的に狭く、移動しづらかった。
- スポンサースペースが広すぎる。
- 演者の声が聞き取りにくい。特に人が多いセッションでは発表がほぼ聞こえない。
- 発表者と聴講者が密集してしまい、展示内容が見えない・聞こえない。
- ポスター発表の形式の見直し（例：自由討論方式）を求める意見もあり。

3. 多言語への要望

- 英語が多すぎる。
- 座長の質が低いことがある。

4. ポスター・口演の配置やセッション運営への要望

- セッションによっては会場規模と聴講者数が合っていない（立ち見多数）。
- 人気セッションが小部屋で満員になっていた事例あり。
- 英語セッションや企業展示との配置バランスに配慮を求める声。
- ポスター掲示板の使い方（裏表使用）や配置間隔の見直しを望む意見も。
- 統合討論は不要。
- 壁が固くて刺さりにくい。
- ポスターの時間が遅すぎるので日中にしてほしい。

5. 電子・オンライン対応への期待

- 電子ポスター（ePoster）やデジタル掲示の導入を求める声。
- オンライン視聴・配信対応に関する要望（B-19-3 に詳細あり）。

B-19-3. WEB・オンデマンドでの配信についての意見

1. 配信の継続を望む声（好評）

- 現地で全セッションに参加できないため、オンデマンドは非常にありがたい。
- 子育て・介護・地方勤務などの理由で、WEB 配信の継続が必要。
- 病棟業務の合間にも視聴できるので助かる。
- 聞き逃したセッションを後で確認できるのは大きな利点。
- 現地参加者からも「重複セッションがあるため」配信の継続希望が多数。
- 優秀ポスターセッションの QR コードで、声が聞こえるアプリはとても良かった。

2. 配信数・対象セッションを増やしてほしい（最多の要望）

- 現在の WEB/オンデマンド対象セッションが少なすぎる。
- 教育講演、シンポジウム、レクチャーマラソン、一般演題、ランチョンなども配信対象にしてほしい。
- レクチャーで定員を設けるのが謎。
- すべてのセッションを配信・視聴可能にしてほしいという意見も多数。
- ライブ配信の数が限られており、オンデマンドに頼らざるを得ない。

3. 単位認定に関する要望

- オンデマンド視聴にも単位付与を認めてほしい。
- 地方や多忙な勤務医にとっては、オンデマンドが現実的な選択。

4. スケジュール・配信開始時期・期間への不満と要望

- 配信開始が 6 月と遅く、視聴意欲が失われる。
- 配信期間が短い（1 か月→2 か月にしてほしいという意見が複数）。
- 開催直後からオンデマンド視聴を開始してほしい。
- 開始時間が早すぎて通勤時間と重なり視聴困難。

5. WEB 参加者への配慮（UI・視認性）

- 視聴ページへの導線が分かりにくい、リンクやボタンが小さい。
- オンデマンド対象セッションがどれか分かりにくい。
- 視聴履歴の確認機能がわかりにくい、改善を求める声あり。

6. 定員制限・予約制への不満

- WEB 予約がすぐ埋まる／視聴人数に制限を設けないでほしい。
- ライブ視聴を予約しないと見られないのは不便。

7. 多言語対応に関する要望

- 英語セッションの偏重を指摘、日本語セッションの配信数を増やしてほしい。
- 英語の音声翻訳付き日本語講義などの導入を望む声も。

8. その他の意見

- 現地派からは「必要ない」「別料金にすべき」といった声も一部。

B-19-4. SNS・アプリ に関する意見

1. 全体としての評価（肯定的・中立）

- シンプルで過剰な機能がなく使いやすかった。
- 一方で「使っていない」「なくても困らない」との中立的・消極的意見も多数。
- ダウンロードの仕方がわかりにくい。
- SNS はやめてもいいという意見と、もっと発信すべき、と両方あり。

2. 前のアプリ（従来のバージョン）との比較での不満

- 昨年までのアプリの方が使いやすかったとの声が多い。

- ・ 会場へのリンク、会場図表示、ブックマークの反映などが不便になったと指摘。
- ・ リアルタイムでの進行状況表示機能やカレンダー同期機能が削除された。
- ・ スクロールや拡大表示の挙動に問題があり、スマホでの操作性が低下。

3. スケジュール管理機能への要望

- ・ ブックマークを日程表・カレンダーに反映してほしい。
- ・ 選択した演題の重複確認や視認性に課題。
- ・ セッションの時間帯に自動通知するリマインダー機能を希望する声。

4. 地図・会場案内機能に関する改善要望

- ・ 会場のフロア情報・位置が分かりにくかった。
- ・ 会場図の文字が小さく、拡大表示できなかった。
- ・ 日程表に会場階数や移動時間の目安があると便利。

5. アプリの統一・安定運用に関する意見

- ・ 毎年アプリの仕様・プラットフォームが変わることへの不満。
- ・ 関連学会で統一されたアプリを使ってほしい。
- ・ 大会公式アプリが直接あるとよい（学会アプリとは別に）。

6. 学会アプリとの連携について

- ・ Web 版や PC 版との同期ができず不便。
- ・ 学会公式アプリに組み込む形で統合してほしいとの声あり。

B-19-5. 抄録集 に関する意見

1. 電子抄録（WEB/アプリ） への評価と課題

- ・ 肯定的な声
 - 電子抄録は便利、紙媒体より軽くてよい。
 - スマートフォンやタブレットで確認できて効率的。
- ・ 否定的・課題
 - スマホでは文字が小さく見づらい。
 - オフラインでの閲覧性に難あり（通信環境に依存する）。
 - アプリや WEB 版の検索機能が不十分との指摘もあり。

2. 紙の抄録集の有無について

- ・ 紙の抄録集を希望する声
 - 紙媒体の方が一覧性・直感的な確認に優れる。
 - 電子機器に不慣れな参加者、高齢者には紙が便利。
 - 書き込みができる点で紙が好ましい。
- ・ 電子のみでよいとの声
 - 紙は不要、コストや環境配慮の観点からも電子一本化を支持。
 - 持ち運びが大変なので電子が合理的。

3. 両者の併用を求める声（中立・調和的意見）

- 紙と電子、どちらも選べる形が望ましい。
- 事前申込制で紙の配布を限定すれば合理的。

4. 抄録デザイン・構成に関する意見

- プログラムとの連携性をもっと高めてほしい（セッション⇄抄録のリンク）。
- 日程順・会場別・セッション別に見やすく整理してほしい。
- 会場階数や導線情報を抄録内に入れてほしい。
- 人名索引が欲しい。

5. その他

- 配布タイミングが遅いと準備しづらいので、事前に入手可能にしてほしい。
- 一部からは「会場での配布方法や場所が分かりづらかった」との指摘も。
- 4000 円は高すぎる。

B-19-6. 共催セミナー に関する意見

1. 全体的な評価

- 内容は充実しており、勉強になったとの声が多数。
- 弁当がおいしかった、選択制でよかった。
- 整理券配布方式でなくなってよかった。
- 並ぶのが大変だけどスムーズだった。
- 数が多すぎる、いつも同じような方の発表。

2. 配信対応への要望（オンデマンド・WEB）

- ランチョンセミナーなどもライブ・オンデマンドで配信してほしいという声が多数。
- 現地で聴講できなかったセッションを後から見られるとありがたい。
- 配信対象にしないのはもったいないという指摘あり。

3. 座席確保・事前予約に関する課題

- 整理券使えば弁当をもっと効率的にくばれるのでは。
- 当日予約にすれば弁当の無駄を減らせるのでは。
- WEB 予約が早期に埋まってしまい、参加できなかった。

4. 開催時間・構成に関する意見

- 内容は良かったが、時間が昼食や移動と重なり慌ただしかったという声。
- セミナー時間と他の主要セッションの時間が重複しないよう調整してほしい。
- イブニングセミナーを増やしてほしい。
- イブニングセミナーの終了時間が遅すぎる。
- 質疑応答の時間が少ない／なしだったことを惜しむ意見。

5. 飲食提供・運営面での改善要望

- 配布弁当の数・量・質・配布のスムーズさに関して意見が分かれた。

- ・ 聴講希望者に対して会場が小さく、入れなかったという報告多数。
- ・ 需要に応じた会場の大きさ・追加開催の検討が必要との意見。

B-19-7. ホームページ に関する意見

1. 情報の分かりにくさ・構成の改善要望

- ・ 必要な情報（参加方法、WEB 配信等）にたどり着くのが難しい。
- ・ 情報が複雑に分散しており、目的のページを探しにくい。
- ・ トップページからの導線が悪い、リンクが小さい／目立たない。

2. 表示や検索のしにくさ

- ・ スマホ表示が最適化されておらず、見づらい。
- ・ スケジュールや会場案内などの検索性・一覧性に欠ける。
- ・ マイページが分かりにくい。
- ・ 当日の参加するアイコンが小さくて目立たない、わかりにくい。

3. WEB 配信関連情報の掲載に関する不満

- ・ WEB／オンデマンド対象セッションの案内が不明瞭。
- ・ WEB 参加ページへのアクセス方法が分かりにくいとの声多数。

4. 改善提案

- ・ もっと早くプログラムを公開する。

B-19-8. 演題登録 に関する意見

1. 全体的な評価

- ・ 所属や著者など以前のものを流用できるようにしてほしい
- ・ 演題登録時点ですでに publish されている内容が発表されるのは倫理的におかしい。
- ・ 日程を 1 月下旬には発表して欲しい。

B13. Charcot 生誕 200 年記念特別展・特別シンポジウム、緒方洪庵、適塾歴史特別展・

特別シンポジウム、 B-19-9. プログラム内容・学術大会プログラム・教育企画 に関する

意見・感想

1. 肯定的評価

- ・ プログラム内容は多岐にわたり、非常に学びが多く充実していたとの声が多かった
- ・ 日常診療に役立つ話題が多く、実践的でためになったという意見が多数
- ・ AI や医療 DX の潮流に触れることができた。
- ・ 一部のシンポジウムの内容が最先端で良かった
- ・ 英語セッションが多くよかった

- 海外からの発表者と日本人の発表者がセッションに入っているのが良かった。
- ポスターセッションの進行に時間の余裕があって十分討議できた。
- シンポジウムで以前のように参加者のディスカッションがなくなったのがよかった
- 基礎と臨床のバランスが良かった。教育コースで馬場先生の講演が興味深かった。
- 大会長校企画プログラムが優れていた
- Charcot 先生に残してくれたお言葉などを教わり感銘しました。またオレキシン受容体や抗アクアポリン抗体の発見に至る講義をその先生方から直接賜うことはとても有意義でした。
- 神経学の歴史にフォーカスした点がよかったです（多数）。
- シャルコーや緒方洪庵を取り上げた点がよかったです。
- シンポジウムがどれも魅力的だった。
- 移行期医療に関するテーマが多くて興味があるテーマだったので良かった。
- 基調講演は何れも良かったです。
- 若手育成とハラスメントについて、小児科からの移行医療について、といった実臨床で困っていることが多い(いわばかゆいところに手が届く)テーマ設定で、とても勉強になりました。
- シンポジウムのタイトルがわかりやすかった。また、基礎と臨床を混ぜている感じがよかった。
- プログラム構成がよく、大会長シンポジウムをはじめとしたシンポジウム/レクチャーの内容がおもしろかった。
- 同時時間帯に開催されるセッション数が多く、人が良く分散されていた
- 教育的なコースがあって良かったです。
- 託児サービスについて、案内が詳細でわかりやすく、利用料を負担いただけたので大変ありがたかったです。施設の方のご対応もよく安心して利用することができました。今後も託児サービスの継続を希望いたします。
- 万博や物価上昇など外的要因で通常開催の学会運営が大変な中、本来の目的を達成すべく運営工夫をされていた点。
- 事前に講演資料があり、現地講演でゆっくり聴講することができた。
- スタッフが優しかった
- 受付やクロークがスムーズで分かりやすかった。
- 事前登録の仕方はわかりやすかった。
- いろいろな方に出会えました。
- "QR コードを会員番号より検索できるシステムがあるとよい"
- 専門以外の項目もあって良かった。

2. 教育講演・レクチャーなどの教育企画への評価と要望

- 生涯教育セミナーの Web 参加制限をやめて、希望者全員が参加出来るようにしてほしい。
- ハンズオンの参加に年齢制限を設けてほしい。

3. シンポジウム・口演の構成や運営に対する意見

- 質疑応答の時間が取られていない、または形式的になっているとの指摘
- 遺伝子等を利用した診断、画像診断など以外の、小規模病院、クリニックで応用できる診察に基づいた発表を増やすべき。
- 大学医局の歴史についての発表は、関係者は面白かったが、部外者にはどうだったんでしょうか？

4. 時間帯・日程編成に関する意見

- 朝早すぎるセッションや夕方遅い時間帯は参加が難しいという声が多数
- 興味あるセッションが同時刻に複数重なっており、選択に苦慮したという意見
- 医療現場を離れて参加している者にとってはもう少し柔軟なスケジュール編成が望ましい
- レジデントトーナメントは他と重ならない方が良い
- 午前のセッションと午後のセッションまでの間の時間が長すぎです。観光などにいけるほどの時間でもなく、日中にまとめて。

5. 演題のトピックとバランスへの意見

- 領域によって講演数の偏りがあり、特定分野への集中が感じられた
- 脳卒中、医療経済領域が少ない。
- 一般演題の質にばらつきがあり、選定基準や発表形式の見直しを求める声も
- コモンな疾患、地方医療や在宅医療、地域連携など日常診療に直結したテーマをもっと取り上げてほしい
- 数が多すぎ重複が多いのでスリム化を。
- より最先端の内容を。
- もう少しコメディカルも聞きやすいように。
- 希少疾患で経験する可能性が低いマニアックな疾患を、基礎から学べるようなセッションが欲しい。

6. 英語セッションに対する意見

- 英語の比重が高く、英語が苦手な参加者にとっては敷居が高かった
- 日本語セッションへの同時通訳や音声翻訳の導入を希望する声もあった
- もっと英語で。

7. その他の自由意見・提案

- スライド資料のダウンロードや復習用の教材提供など、学習支援のさらなる充実が望まれている
- このシリーズだけ見れば知識をアップデートできる、というコーナーがあるといい。

B-19-10. 事務・運営・スタッフ対応 に関する意見

1. スタッフ対応・事務運営への評価

- 受付や誘導などスタッフの対応は丁寧で、全体としてスムーズだった
- 受付が外はよくない。
- リーガロイヤル側から、総合受付の案内がなく戸惑った。
- PC 受付がホテル側と会議場でわかれていたことがわからなかったのと、連携して
いなかったこと

2. 案内不足・情報共有の課題

- 会場やシャトルバス乗り場の案内が少なく、迷ったという意見が多数
- 会場内の動線がわかりづらく、フロア移動や各会場へのアクセスに苦労した
- 総合受付や初回登録の場所が不明瞭で探し回ったという声
- 案内板や掲示物が少なく、案内係も十分に配置されていなかったとの指摘

3. スタッフの知識・教育に関する意見

- 一部のスタッフが会場構成やプログラムに不案内で、質問に即答できないことがあ
った

4. トラブル対応・臨機応変さへの指摘

- シャトルバスの混雑や乗り遅れ時に代替案の提示がなく、不親切に感じた
- 会場変更や講演のキャンセル・遅延時の周知が不十分だったとの声
- スケジュール変更などリアルタイムの情報共有体制が弱く、掲示やアプリ通知での
対応が求められた

5. その他

- 空調が不適切
- フリードリンクが欲しい。
- 生涯教育セミナーを最後だけ退出するとクレジットがつかないはおかしい
- スライド登録を前々日に登録したかった
- 会員懇親会で高齢の先生を立たせっぱなしにしているのがまずい。
- 会員懇親会で杖歩行者へもっと配慮を。
会員懇親会のアトラクション：容姿等のいじりは今の時代に不適。
- 誰がスタッフかわからない、事務局とスタッフの連携がよくない

B-19-11. その他の意見

- 懇親会会場で食器返却場が欲しい。
- ランチョンの弁当がまずい。
- ハラル食品を提供する必要がある
- WiFi を見つけられなかった。

- 神経内科医同士が交流できるような、交流を前提とした休憩所を作ってほしい。
- ポスター会場の企業ブースにおける宣伝活動が執拗。
- 製薬会社のスペースが広すぎる
- 企業ブースに若い女性がコンパニオンのように立つのは不要。普通にスーツにして。
- 事務局はマスク着用、手指消毒を呼びかけて欲しい
- 会場周囲に不審者がいた、ネームプレートの管理をしっかりしてほしい
- 公演中の雑談やあくびなどマナーが悪い参加者を運営側から注意してほしい
- クロークでは傘も預かって欲しい 参加受付の場所が強風にさらされていた。
- 書籍販売が狭かった
- シンポジウムの推薦は現在学会員のみになっているが、学会員＋非学会員も可能とするように改正できないか
- 本学会の社会的認知の実装を、さらに考える必要があり、ある国際学会では通常の医学的シンポジウムに PPI の speaker を入れることを義務付けています。そのような取り組みをプレスから発信するなど、多々実装方法を考える必要があります。
- 発表が単施設で小規模。
- イブニングセミナーはなくていい。時間外労働。
- 次年度以降共催セミナーの開催内容は趣意書に基づいて相談させていただきたい。
- 講演やシンポジウムは退官された著名な先生の参加も場合によりあってもよいのではないか。
- 参加確認証の公開時期がかなり遅かった
- QRcode の発行が遅い
- 土日開催はやめてほしい
- 土日に開催してほしい
- 毎年開催曜日をかえて欲しい
- PNS と開催日程が被っていた
- 教育セミナーは午前中にしてほしい
- 生涯教育講演会を会期の初日と最終日に分けるのはやめてほしい
- 単位をせめて 10 単位付与して欲しい
- もっと翻訳を用意してほしい
- ポケットプログラムを海外会員には郵送できなくても、会場で無料で渡してほしい。
- 日本産科婦人科学会ではスタンプラリーを導入し、参加者がすべての会場を回るような仕組みが作られていました。
- 資料の事前配布をしてもらえるセッション数を増やしてほしい

全体のまとめ

昨年同様現地参加人数は6000人を超えており現地参加が主流になる一方で、ウェブのみの参加が約3000人あり、ライブ、オンデマンド配信に対する要望も多く、今後考慮する必要がある。大会長企画をはじめとするシンポジウムについては一部批判的なご意見もあったものの高く評価する意見を多数頂いた。学会会場へのアクセスや構造に対するご意見もあったが現在のところ大阪には大阪府立国際会議場以外に大きな会場はなく、今後この会場で学会を開催する場合には案内方法、高齢の方への配慮も含め工夫が必要と思われた。